

平成25年度

隠岐の島町教育委員会
点検・評価報告書

平成26年9月

教育委員会の点検・評価結果の報告

1 趣旨

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正(平成20年4月1日施行)され、各教育委員会は、毎年、その教育行政事務の管理・執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとなりました。

したがいまして、教育委員会では、平成25年度の教育行政事務の点検・評価を実施し、報告書にまとめたところです。

2 点検・評価の対象

教育委員会では、本町の教育の振興に関する施策について、その進行管理として、毎年、点検・評価を実施していくこととし、当該年度分の教育行政事務の点検・評価を翌年度において実施するとともに、その結果について議会へ提出し、公表することとしています。

今回の点検・評価の報告は、平成25年度の教育委員会の活動状況及び教育委員会の主要な事業に係るものです。

3 点検・評価の方法

教育行政に係る主要事業等について、教育委員会での点検・評価を行うとともに、点検・評価の客観性を確保するために、教育に関し学識経験を有する者で構成する隠岐の島町教育委員会外部点検評価委員を設置し、意見、助言をいただくとともに、その評価結果をもとに本報告書を作成しました。

隠岐の島町教育委員会外部評価委員

委員 八幡 邦彦

委員 小山 理久

委員 谷田 一子

隠岐の島町教育委員会外部評価委員会開催状況

第1回 平成26年8月19日

第2回 平成26年8月22日

平成25年度教育委員会活動状況について

対象期間：平成25年4月～平成26年3月

1 教育委員会

- ・定例会 12回（月1回）

2 委員研修会等

- ・島根県市町村教育委員会連合会理事会・総会・研修会等

3 学校行事等

- ・学校訪問、入学式、卒業式、教科指導力向上セミナー等

4 町の行事等

- ・隠岐の島ウルトラマラソン、成人式等

5 教育委員会評価

- ・教育委員会の開催情報については、町定時放送で周知していますが、25年度は傍聴者が11名でした。また、学校訪問の後に中村地区で教育委員会を開催しましたが、傍聴者は2名でした。今後はより多くの町民が傍聴出来るように開催会場等を含めて検討してまいります。

平成 25 年度教育委員会審議案件について

| 区 分 | 開催 回数 | 人事 案件 | 規則 等 | 教科 書 | 文化 財 | 事業 計画 | 事業 結果 | 議会 関係 | 指定 管理 | 計 |
|-------|----------|----------|---------|---------|---------|----------|----------|----------|----------|----|
| 定 例 会 | 12 | 8 | 13 | | | 1 | 1 | 5 | 2 | 30 |
| 臨 時 会 | | | | | | | | | | |
| 計 | 12 | 8 | 13 | | | 1 | 1 | 5 | 2 | 30 |

1 定例会案件 議題30件、報告12件

- ・人事案件 付属機関の委員の委嘱等、教職員、事務局職員の異動
- ・規則等

隠岐の島町生涯学習センター設置及び管理条例施行規則の一部改正

隠岐の島町総合体育館設置及び管理条例施行規則の一部改正

隠岐島文化会館設置及び管理条例施行規則の一部改正

隠岐の島町図書館利用制限等実施要綱の制定

隠岐の島町武道館設置及び管理条例の一部改正

隠岐の島町教育委員会事務局の組織に関する規則の一部改正

隠岐の島町学校管理規則の一部改正

隠岐の島町スポーツ推進委員に関する規則の一部改正

隠岐の島町武道館設置及び管理条例施行規則の全部改正

隠岐の島町図書館設置及び管理条例施行規則の一部改正

隠岐の島町がんばれ島のキッズ島外遠征事業補助金交付要綱の制定

がんばれ島のスポーツキッズ少年少女島外遠征費補助金交付要綱の廃止

隠岐の島町突き牛導入促進事業補助金交付に関する要綱の一部改正

- ・事業計画 「平成25年度教育の方針と事業」

- ・事業結果 教育委員会の点検・評価結果

- ・議会関係

平成25年度隠岐の島町一般会計補正予算（第1号、第2号、第3号、4号）

平成26年度一般会計当初予算案等

- ・施設の指定管理（隠岐の島町図書館・西郷武道館）

- ・委員長の選任、委員長職務代理者の選任

●平成25年度教育委員会主要事業実施報告

(平成25年4月～平成26年3月)

・報告書(評価シート)事業No. 1～39

| No、 | 担当課 | 係 | 事業名 | P |
|-----|---------|-------|----------------------------|----|
| 1 | 総務学校教育課 | 学校教育係 | 学力向上対策事業 | 6 |
| 2 | 〃 | 〃 | 学校図書充実事業 | 8 |
| 3 | 〃 | 〃 | 英語指導事業 | 9 |
| 4 | 〃 | 〃 | 教育振興事業(小学校) | 11 |
| 5 | 〃 | 〃 | 研究指定事業(小学校) | 12 |
| 6 | 〃 | 〃 | 教育振興事業(中学校) | 14 |
| 7 | 〃 | 〃 | 研究指定事業(中学校) | 15 |
| 8 | 〃 | 〃 | 教育相談事業 スクールソーシャルワーカー配置事業 | 16 |
| 9 | 〃 | 〃 | 教育相談事業 スクールカウンセラー配置事業 | 17 |
| 10 | 〃 | 〃 | 教育相談事業 教育支援指導員事業 | 18 |
| 11 | 〃 | 〃 | 特別支援教育事業 | 19 |
| 12 | 〃 | 〃 | 教育支援センター「スマイル」運営事業 | 21 |
| 13 | 〃 | 総務係 | 学校施設整備事業 | 22 |
| 14 | 生涯学習課 | 社会教育係 | 社会教育事業 会議 | 23 |
| 15 | 〃 | 〃 | ふるさとあったかスクラム事業 | 24 |
| 16 | 〃 | 〃 | 教育キャンプ村の開設 | 25 |
| 17 | 〃 | 〃 | 結集!わいらの子育て協働プロジェクト(県補助) | 26 |
| 18 | 〃 | 〃 | ふるさと教育推進事業(県補助) | 27 |
| 19 | 〃 | 〃 | 社会教育団体活動支援事業 | 28 |
| 20 | 〃 | 〃 | 人権・同和教育関係団体活動等推進事業 | 29 |
| 21 | 〃 | 〃 | 教育文化施設運営事業 | 30 |
| 22 | 〃 | 〃 | 保健体育事業 スポーツ推進委員活動費 | 31 |
| 23 | 〃 | 〃 | 保健体育事業 学校施設開放事業 | 32 |
| 24 | 〃 | 〃 | 保健体育事業 生涯スポーツ推進団体連絡会 | 33 |
| 25 | 〃 | 〃 | 総合型地域スポーツクラブ 自立支援事業(日体協委託) | 34 |
| 26 | 〃 | 〃 | 障がい者スポーツ振興事業 | 35 |
| 27 | 〃 | 〃 | 社会体育施設管理運営事業 | 36 |
| 28 | 〃 | 〃 | 社会体育団体活動支援事業 | 37 |
| 29 | 〃 | 文化振興係 | ジオパーク推進事業 | 38 |
| 30 | 〃 | 〃 | 文化芸術振興事業 | 39 |
| 31 | 〃 | 〃 | 隠岐の島町図書館運営事業 | 40 |
| 32 | 〃 | 〃 | 文化財保存伝承事業 | 42 |

| | | | | |
|----|--------------|--------------|----------------------|----|
| 33 | 公民館 | 公民館 | 生涯学習の推進 | 44 |
| 34 | 〃 | 〃 | 地域の教育力の向上 | 46 |
| 35 | 〃 | 〃 | 家庭教育・青少年教育の充実 | 48 |
| 36 | 〃 | 〃 | 文化芸術活動の推進・人権・同和教育の推進 | 50 |
| 37 | 〃 | 〃 | コミュニティー活動の推進 | 51 |
| 38 | 〃 | 〃 | その他関連事業（各施設の管理運営） | 53 |
| 39 | 学校給食 センター | 学校給食 センター | 学校給食の実施 | 54 |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|---|----------|-------|---|
| 担当課 | 総務学校教育課 | No | 1 |
| 事業名 | 教育管理費 | 教育指導費 | |
| 事業名 | 学力向上対策事業 | | |
| 決算額 | 4,661千円 | | |
| 1 事業の内容 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国・県・町学力調査の実施と分析 ・ プロジェクト会議・専門部会の設置 ・ 教職員研修の実施 ・ 学習プリント配信システムの活用 ・ 派遣指導主事の配置 ・ 生活習慣の改善のためのチラシ作成・配布 ・ 事業の検証 | | | |
| 2 成果及び状況 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣指導主事負担金・指導主事会等出席旅費 2,050 千円 ・ 町学力調査 1,151 千円 ・ 県学力調査負担金 422 千円 ・ 学習プリント配信システム活用 343 千円 ・ 教科指導力向上セミナー 397 千円 ・ 専門研究部会（各教科）研究教材費 245 千円 ・ 生活習慣の改善のためのチラシ作製費 53 千円 | | | |
| 3 評価及び課題 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成21年度から、教育委員会と学校、家庭が連携して取り組んできた結果、各校において学力向上対策のPDCAサイクル（Plan計画、Do実施・実行、Check点検・評価、Action処置・改善）が確立されつつあり、各校の実態に応じた取組みがなされ、少しずつ学力が向上してきた。 ・ 平成25年度の島根県学力調査の結果を見ると、正答率が県平均を上回る学年・教科が増えてきた。また、家庭学習の時間も少しずつ増えている。しかし、学年や各教科の内容によっては、まだ弱みがある。さらに、テレビの視聴時間や携帯電話を使用する割合が県平均より高く、課題となっている。 ・ 今後は、思考力、判断力、表現力といった活用力を育てていくこと、また、家庭と連携し、生活習慣の改善や家庭学習の習慣化に向けた一層の取組みが必要である。また、教科指導力向上セミナーの開催により教員一人一人の意識を高めるとともに、学力向上専門部会で学校間の情報交換を行ったり、指導主事の学校訪問、授業研究などにより教員の指導力向上を図っていく必要がある。 | | | |
| 4 外部評価委員評価 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 島内の児童生徒の学力の向上が学力テストなどにも表れている。各校の取り組みの成果であり評価できる。 ・ 学校間、異校種間、家庭との連携を強化し、生活習慣の改善、家庭学習の習慣化を目指す必要がある。 ・ 学力向上に向けた教委、学校の対応は素晴らしい。 | | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

- 今後は学力向上のための子供たち自身の意識改革が必要。
- 思考力、判断力、表現力を育てるためアクティブ・ラーニングの導入など町教委を中心とした部会を立ち上げ、具体的指導方法の研究等を小・中連携して取り組む必要がないか。
- また、生活習慣や家庭学習の習慣化については、小・中・高で同じ期間に調査し、検討する必要がある。

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|--|----------|---------------|---|
| 担当課 | 総務学校教育課 | No | 2 |
| 事業名 | 学校教育事業 | 確かな学力を育む教育の推進 | |
| 事業名 | 学校図書充実事業 | | |
| 決算額 | 13,825千円 | | |
| 1 事業の内容 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館司書・ボランティアの配置 ・ 学校図書館図書の購入・整備 ・ 学校司書の研修 | | | |
| 2 成果及び状況 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校司書雇用費（5校） 9,416千円 ・ 学校図書館ボランティア雇用費（6校） 890千円 ・ 学校司書研修費 300千円 ・ 図書購入費 2,986千円 ・ 図書関係消耗品費 233千円 | | | |
| 3 評価及び課題 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校司書等の配置により、環境が整備され、使用しやすい居心地のよい図書館となり、利用者数、図書貸出数が増加してきた。 ・ 学校図書館図書標準に基づき、年次的に図書を整備しているが、今後も、量と質のバランスを取りながら図書の充実を図る必要がある。また、学校図書館を活用した教育活動や図書活動が積極的に行われるよう、司書教諭と学校司書、町立図書館司書等が連携を図り、学校図書館の機能の充実・強化を図っていく必要がある。 ・ 「子ども読書活動推進事業」の補助があって本事業が実施できているが、今後補助事業が終了した場合には本事業の見直しをする必要がある。 | | | |
| 4 外部評価委員評価 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 各校の学校図書館の機能の充実が見られる。町立図書館の司書も充実しているようなので連携をとりながら更なる学校図書館の機能の充実を図られることを望む。 ・ 「子ども読書活動推進事業」が継続されることを期待する。 ・ 学校図書館の充実と子供たちの学力向上は相関関係にあると思われるので、本事業のさらなる推進を望む。財源については、町費補てん必要。 ・ 図書館司書教諭、図書館司書及び町立図書館司書が連携し、学校での読書活動の推進方法や学習の場としての学校図書館の活用方法や整備について定期的な研究会を設けることはできないか。 | | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|---|-------|---|-------------|----------|----------------------|----------|-------|--------|----------------|--------|------------|-------|---------|--------|--------|-------|
| 担当課 | 総務学校教育課 | No | 3 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業名 | 教育管理費 | 教育指導費 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業名 | 英語指導事業 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 決算額 | 10,383千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語教育の充実と国際理解の推進を図るため、ALT（外国語指導助手）を各学校へ派遣し、英語の授業の補助等を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 成果及び状況 | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">・ ALT雇用費 2名</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">8,255 千円</td> </tr> <tr> <td>・ ALT小中学校派遣経費（移動交通費）</td> <td style="text-align: right;">1,680 千円</td> </tr> <tr> <td>・ 事務費</td> <td style="text-align: right;">448 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(財)自治体国際化協会負担金</td> <td style="text-align: right;">144 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">JET傷害保険負担金</td> <td style="text-align: right;">50 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">会議・研修旅費</td> <td style="text-align: right;">217 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">事務消耗品他</td> <td style="text-align: right;">37 千円</td> </tr> </table> | | | ・ ALT雇用費 2名 | 8,255 千円 | ・ ALT小中学校派遣経費（移動交通費） | 1,680 千円 | ・ 事務費 | 448 千円 | (財)自治体国際化協会負担金 | 144 千円 | JET傷害保険負担金 | 50 千円 | 会議・研修旅費 | 217 千円 | 事務消耗品他 | 37 千円 |
| ・ ALT雇用費 2名 | 8,255 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ ALT小中学校派遣経費（移動交通費） | 1,680 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 事務費 | 448 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (財)自治体国際化協会負担金 | 144 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| JET傷害保険負担金 | 50 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会議・研修旅費 | 217 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務消耗品他 | 37 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生の「話す・聞く」の英語によるコミュニケーション能力の向上が図られた。 ・ 小学校5・6年生の外国語活動では、教員のほとんどが英語の教員免許状を持っていないため、ALTの補助により授業がスムーズに進められた。 ・ 国際化が進展する中であって、異文化に対する理解や異なる文化を持つ人と共に協調して生きていく人材を育成することは大切で、外国人と触れ合う機会の少ない本町の住民にとって、ALTの存在は重要である。ALTが、週2回、隠岐島文化会館で開催される英会話教室の講師を務めたり、地域のイベント等に積極的に参加したり、本町の国際化にとって大きな存在となった。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ALTの派遣により子どもたちの英語への親しみと話す力・聞く力は伸びている。小学生段階から継続してALTと関わる機会を持ってきている子どもたちは、留学生たちとの関わりの中でも積極的にコミュニケーションをとろうとすることができたと言っている。 ・ 小学校の外国語活動では会話だけでなく異国の文化の紹介などもあり、貴重な時間になっている。ALT任せの授業にならぬよう、打ち合わせの時間を確保したり、教員の英語指導研修などを充実させたりする必要があると思われる。 ・ ALTによる英語教育は、子供たちのこれからにとって生きて働く力になると思われるのでさらなる充実を望む。 ・ ALTが小学生の国際コミュニケーション力の向上に大きく関わっていることは評価できるが、今後小学校3年からの英語の教科導入に対して先進的な研究開発を行う学校への視察など計画的な研究に取り組む必要がある。 | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

- ・また、ALTが具体的に地域のイベント等にどれくらい参加しているか、どのように関わっているかを検証する必要がある。

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|--|-------|---|
| 担当課 | 総務学校教育課 | No | 4 |
| 事業名 | 小学校費 | 教育振興費 | |
| 事業名 | 教育振興事業 | | |
| 決算額 | 26,439千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 町立小学校7校の教育振興のために必要な教材等の整備費や校内外の教育活動費、就学援助費・特別支援教育就学奨励に係る費用 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材等整備費 8,593千円 <ul style="list-style-type: none"> 標準・特別・指定・理振教材費 4,770千円 教育用パソコン整備費 3,162千円 教材修理費 81千円 教師用教科書・指導書代 311千円 楽器調律費 269千円 ・ 校内教育活動費 4,823千円 ・ 修学旅行費補助金 1,614千円 ・ いじめ対応支援事業 420千円 ・ 就学援助費・特別支援教育就学奨励費 9,037千円 ・ 検診費用 1,292千円 ・ 災害共済給付金掛金 641千円 ・ その他事務費 19千円 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校教育に必要な教材等の整備・補助をした結果、各校の実態・要望に応じた取組みをすることができた。 ・ 教材等の計画的な整備・補助が必要である。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 等しく教育を受ける権利が守られるよう、今後とも実態の把握とそれに対応した整備が望まれる。 ・ 教材の充実は各学校の先生方の授業指導につながると思われるので、力を入れてほしい。 ・ 各校の教材修理や楽器調律等が年次計画的に行われる必要がある。 | | |

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--------------------|-------|---|--------------------|--------------------|-------------------|--------|----------|-----------|-------------------|--------|-------------------------------------|--------|--------------------|--------|----------|--------|
| 担 当 課 | 総務学校教育課 | N o | 5 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事 業 名 | 小学校費 | 教育振興費 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事 業 名 | 研究指定事業 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 決 算 額 | 3, 3 9 1 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 事業の内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 町立小学校 7 校の教育振興のために必要な研究事業に係る費用 <ul style="list-style-type: none"> ○環境教育推進事業 「学校版エコライフチャレンジしまね」を活用した、産業廃棄物の減量を始めとする環境教育に視点をおいた学習の推進を行う。 ○環境教育総合支援事業 学習指導要領等の趣旨を踏まえ、教科横断的な視点や体験的学習を取り入れながら、幼保等・小・中学校及び地域住民が連携・協働して、創意工夫によりふるさとに根ざした環境教育を推進する。 ○学習と評価実践研究事業 学習指導要領の趣旨を具体化し、深化充実するための教育課程編成、指導方法等の工夫改善、及び学習指導要領の目標に準拠した評価方法の工夫改善について複数教科で研究を行い、指導と評価の一体化を図る。 ○地域の伝統や文化を継承・発展させる教育活動を支援する事業 地域の伝統や文化を継承したり、発展させたりする取組を各教科等の指導計画に位置付けて、子どもたちのふるさとに対する愛着と誇りを育むとともに、学校が核となって地域に活力を与えることを目指す。 ○体力向上推進モデル事業 運動への関心や意欲を身に付けたり、運動の楽しさや喜びを味わったりすることができる教育課程の編成や体育・保健体育科の指導の在り方など実践的研究を行う体力向上推進モデル校を指定することにより、今後の体育・保健体育の授業力向上並びに体力向上施策の改善を図る。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 成果及び状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">環境教育推進事業（各校 50 千円）</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">351 千円（1 千円は端数調整分）</td> </tr> <tr> <td>環境教育総合支援事業（西郷小学校）</td> <td style="text-align: right;">625 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">〃（五箇小学校）</td> <td style="text-align: right;">1, 400 千円</td> </tr> <tr> <td>学習と評価実践研究事業（磯小学校）</td> <td style="text-align: right;">215 千円</td> </tr> <tr> <td>地域の伝統や文化を継承・発展させる教育活動を支援する事業（五箇小学校）</td> <td style="text-align: right;">200 千円</td> </tr> <tr> <td>体力向上推進モデル事業（中条小学校）</td> <td style="text-align: right;">300 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">〃（都万小学校）</td> <td style="text-align: right;">300 千円</td> </tr> </table> | | | | 環境教育推進事業（各校 50 千円） | 351 千円（1 千円は端数調整分） | 環境教育総合支援事業（西郷小学校） | 625 千円 | 〃（五箇小学校） | 1, 400 千円 | 学習と評価実践研究事業（磯小学校） | 215 千円 | 地域の伝統や文化を継承・発展させる教育活動を支援する事業（五箇小学校） | 200 千円 | 体力向上推進モデル事業（中条小学校） | 300 千円 | 〃（都万小学校） | 300 千円 |
| 環境教育推進事業（各校 50 千円） | 351 千円（1 千円は端数調整分） | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境教育総合支援事業（西郷小学校） | 625 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 〃（五箇小学校） | 1, 400 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学習と評価実践研究事業（磯小学校） | 215 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地域の伝統や文化を継承・発展させる教育活動を支援する事業（五箇小学校） | 200 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 体力向上推進モデル事業（中条小学校） | 300 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 〃（都万小学校） | 300 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 評価及び課題 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 各校とも研究指定事業の趣旨に沿った特色ある取組をすることができた。 ・ 年度当初からのスムーズな事業実施ができるよう、県との連携が必要である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

4 外部評価委員評価

- ・研究指定による特色ある教育は、学校だけでなく地域、町民を抱き込んだ広がりを見せており好ましい。学校がスムーズな実施をできるようさらに努力されたし。
- ・優れた研究と実践が各学校等にさらに一層活用されるよう望みたい。

平成 2 5 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|--|----------|---|----------|--|----------|--|----------------|--|----------|--|------------|--|----------|--|-------|--|-------|--|-------------|--|-------|--|-------|--|--------|--|-----------|--|----------|--|------------|--|----------|--|-------------|--|----------|--|-------------|--|--------|--|---------------------|--|----------|--|--------|--|--------|--|-------------|--|--------|--|----------|--|-------|--|
| 担 当 課 | 総務学校教育課 | N o | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事 業 名 | 中学校費 | 教育振興費 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事 業 名 | 教育振興事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 決 算 額 | 3 1, 5 7 8 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 町立中学校 4 校の教育振興のために必要な教材等の整備費や校内外の教育活動費、部活動遠征助成や就学援助費・特別支援教育就学奨励に係る費用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 成果及び状況 | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">・ 教材等整備費</td> <td style="width: 45%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: right;">7,944 千円</td> <td style="width: 35%;"></td> </tr> <tr> <td> 標準・特別・指定・理振教材費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">4,965 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 教育用パソコン整備費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,782 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 教材修理費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">38 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 教師用教科書・指導書代</td> <td></td> <td style="text-align: right;">25 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 楽器調律費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">134 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 校内教育活動費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">4,491 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 修学旅行費補助金</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,466 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 各種大会参加補助金</td> <td></td> <td style="text-align: right;">7,851 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ いじめ対応支援事業</td> <td></td> <td style="text-align: right;">217 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 就学援助費・特別支援教育就学奨励費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">7,838 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 検診費用</td> <td></td> <td style="text-align: right;">381 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 災害共済給付金掛金</td> <td></td> <td style="text-align: right;">330 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ その他事務費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">60 千円</td> <td></td> </tr> </table> | | | ・ 教材等整備費 | | 7,944 千円 | | 標準・特別・指定・理振教材費 | | 4,965 千円 | | 教育用パソコン整備費 | | 2,782 千円 | | 教材修理費 | | 38 千円 | | 教師用教科書・指導書代 | | 25 千円 | | 楽器調律費 | | 134 千円 | | ・ 校内教育活動費 | | 4,491 千円 | | ・ 修学旅行費補助金 | | 2,466 千円 | | ・ 各種大会参加補助金 | | 7,851 千円 | | ・ いじめ対応支援事業 | | 217 千円 | | ・ 就学援助費・特別支援教育就学奨励費 | | 7,838 千円 | | ・ 検診費用 | | 381 千円 | | ・ 災害共済給付金掛金 | | 330 千円 | | ・ その他事務費 | | 60 千円 | |
| ・ 教材等整備費 | | 7,944 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 標準・特別・指定・理振教材費 | | 4,965 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育用パソコン整備費 | | 2,782 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教材修理費 | | 38 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教師用教科書・指導書代 | | 25 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 楽器調律費 | | 134 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 校内教育活動費 | | 4,491 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 修学旅行費補助金 | | 2,466 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 各種大会参加補助金 | | 7,851 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ いじめ対応支援事業 | | 217 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 就学援助費・特別支援教育就学奨励費 | | 7,838 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 検診費用 | | 381 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 災害共済給付金掛金 | | 330 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ その他事務費 | | 60 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校教育に必要な教材等の整備・補助をした結果、各校の実態・要望に応じた取組みをすることができた。 ・ 教材等の計画的な整備・補助が必要である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 等しく教育を受ける権利が守られるよう、今後とも各校の実態の把握とそれに対応した整備が望まれる。 ・ 教材の充実は各学校の先生方の授業改善につながると思われるので、力を入れてほしい。 ・ 各校の教材修理や楽器調律等が年次計画的に行われる必要がある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------------------|-------|---|--------------------|--------------------|-------------------|--------|----------|----------|---------------------|--------|-----------------------|--------|
| 担 当 課 | 総務学校教育課 | No | 7 | | | | | | | | | | |
| 事 業 名 | 中学校費 | 教育振興費 | | | | | | | | | | | |
| 事 業 名 | 研究指定事業 | | | | | | | | | | | | |
| 決 算 額 | 2, 5 2 7 千円 | | | | | | | | | | | | |
| 1 事業の内容 | | | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 町立中学校 4 校の教育振興のために必要な研究事業に係る費用 <ul style="list-style-type: none"> ○環境教育推進事業 「学校版エコライフチャレンジしまね」を活用した、産業廃棄物の減量を始めとする環境教育に視点をおいた学習の推進を行う。 ○環境教育総合支援事業 学習指導要領等の趣旨を踏まえ、教科横断的な視点や体験的学習を取り入れながら、幼保等・小・中学校及び地域住民が連携・協働して、創意工夫によりふるさとに根ざした環境教育を推進する。 ○家勉充実プロジェクト事業 生徒の主体的に学習に取り組む態度を養うために、家庭学習を充実させる実践研究に取り組む。 ○しまねのふるまい体験活動推進事業 学校が家庭や地域等と連携を図りながら生徒の「ふるまい」を定着させるための体験活動を実施し、併せて地域全体に「しまねのふるまい」を推進する気運を醸成する。 | | | | | | | | | | | | | |
| 2 成果及び状況 | | | | | | | | | | | | | |
| <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">環境教育推進事業（各校 50 千円）</td> <td style="text-align: right;">201 千円（1 千円は端数調整分）</td> </tr> <tr> <td>環境教育総合支援事業（西郷中学校）</td> <td style="text-align: right;">625 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">〃（五箇中学校）</td> <td style="text-align: right;">1,100 千円</td> </tr> <tr> <td>家勉充実プロジェクト事業（五箇中学校）</td> <td style="text-align: right;">300 千円</td> </tr> <tr> <td>しまねのふるまい体験推進事業（都万中学校）</td> <td style="text-align: right;">300 千円</td> </tr> </table> | | | | 環境教育推進事業（各校 50 千円） | 201 千円（1 千円は端数調整分） | 環境教育総合支援事業（西郷中学校） | 625 千円 | 〃（五箇中学校） | 1,100 千円 | 家勉充実プロジェクト事業（五箇中学校） | 300 千円 | しまねのふるまい体験推進事業（都万中学校） | 300 千円 |
| 環境教育推進事業（各校 50 千円） | 201 千円（1 千円は端数調整分） | | | | | | | | | | | | |
| 環境教育総合支援事業（西郷中学校） | 625 千円 | | | | | | | | | | | | |
| 〃（五箇中学校） | 1,100 千円 | | | | | | | | | | | | |
| 家勉充実プロジェクト事業（五箇中学校） | 300 千円 | | | | | | | | | | | | |
| しまねのふるまい体験推進事業（都万中学校） | 300 千円 | | | | | | | | | | | | |
| 3 評価及び課題 | | | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 各校とも研究指定事業の趣旨に沿った特色ある取組をすることができた。 ・ 年度当初からのスムーズな事業実施ができるよう、県との連携が必要である。 | | | | | | | | | | | | | |
| 4 外部評価委員評価 | | | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 家勉充実プロジェクト事業のような子どもたち自身が学力向上に向けて意識改革できるような事業の推進を望む。 ・ 年度ごとの優れた研究と実践が各学校等にさらに一層活用されるよう望みたい。 | | | | | | | | | | | | | |

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|--|-------------------|---|
| 担 当 課 | 総務学校教育課 | No | 8 |
| 事 業 名 | 学校教育事業 | 子どもたちの学びを支える取組の推進 | |
| 事 業 名 | 教育相談事業 スクールソーシャルワーカー配置事業 | | |
| 決 算 額 | 690千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> 専門的な知識や技術を有する者をスクールソーシャルワーカーとして配置し、児童生徒の置かれている環境への働きかけや関係機関との連絡調整など総合的な支援を行う。 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> 1名 年間 147 時間配置 要請のあった学校へ随時訪問し支援を行った。 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> 学校内のほか地域・家庭など児童生徒が置かれた様々な環境への働きかけや、関係機関との連携が図られ、問題の早期解決、未然防止につながった。 人材について、現状では県教育委員会でのスクールカウンセラー経験者のうちから1名を配置しているが、今後、人材の確保・育成面に不安があり、県教育委員会と連携を密にし対応していく必要がある。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> 島内でも生育環境が複雑化している昨今、子どもたちの健全な育ちを支えるためにも必要な事業である。 人材確保の課題は離島という条件を考えても難しい問題だと思われる。県教委との連携を密にしつつ早めの対応が必要。 隠岐の島町内での人材確保に向けて是非努力されたし。 臨床心理士などの人材の確保と育成のための広報活動をスクールカウンセラーも含め展開する必要がある。 | | |

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|---|-------------------|---|
| 担 当 課 | 総務学校教育課 | N o | 9 |
| 事 業 名 | 学校教育事業 | 子どもたちの学びを支える取組の推進 | |
| 事 業 名 | 教育相談事業 スクールカウンセラー配置事業 | | |
| 決 算 額 | 0 千円 | (県事業) | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する者をスクールカウンセラーとして配置し、教育相談体制や生徒指導の充実を図る。 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 配置状況 西郷小学校 年間 70 時間 各中学校 年間各 70 時間 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者や生徒とのカウンセリングや、授業実施における教職員への支援・助言など、豊富な経験や専門的な見地に基づいた活動が行われた。 ・ 学校における生徒指導や教育相談等において非常に有効に活用されており、今後も継続して配置されるよう国・県へ働きかける必要がある。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ スクールカウンセラーと学校との連携により、生徒指導や教育相談などカウンセラーの専門性が生かされた活動になっている。問題を抱えた子どもや保護者にとってもその存在と関わりは大きな意味を持つと思われる。継続した配置が望まれる。 ・ 生徒指導、教育相談は学校教育にとって不可欠な要素であるので今後も推進されたし。 ・ スクールカウンセラーの養成等にも努力してほしい。 ・ 活用について事例研究等を具体的な活用例を各学校に紹介するとともに教職員研修などの取組をお願いしたい。 | | |

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|---|-------------------|-----|
| 担 当 課 | 総務学校教育課 | N o | 1 0 |
| 事 業 名 | 学校教育事業 | 子どもたちの学びを支える取組の推進 | |
| 事 業 名 | 教育相談事業 教育支援指導員事業 | | |
| 決 算 額 | 4 0 7 千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校及び不登校傾向の生徒に対し、個々に応じた学習支援や社会性を身につけさせる指導を行う。 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校 2 校（西郷中学校、五箇中学校）配置 年間 398 時間 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校及び不登校傾向の生徒について、補充学習を行い基礎基本の学力定着が図られた。 ・ 個別指導は一定の効果があるが、他の生徒との指導格差を生じさせるおそれがある。また、放課後等の補充学習は学校の教職員によって十分対応できる状況にあり、支援員を配置して指導するメリットが少ないと判断し、平成 25 年度をもって本事業を終了することとした。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内支援の充実を望む。 ・ 不登校、不登校傾向の生徒への早期発見、早期対応は重要であるので、積極的に取組んでほしい。 | | |

平成 2 5 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|---|-------------|-------|-----|
| 担 当 課 | 総務学校教育課 | No | 1 1 |
| 事 業 名 | 教育管理費 | 教育指導費 | |
| 事 業 名 | 特別支援教育事業 | | |
| 決 算 額 | 5, 3 3 3 千円 | | |
| 1 事業の内容 | | | |
| <p>[特別な支援のための支援員配置]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中学校において、特別な教育的支援を要する児童生徒が在籍する学級に支援員を配置し、具体的な支援策を明らかにして、児童生徒や教員を支援することにより、学級の運営を円滑にする。 <p>[隠岐の島町相談支援チーム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の教育・保健・福祉の関係部局・関係機関の担当で組織された相談支援チームを設置し、乳幼児期から学校卒業後までの発達障がいを含む全ての障がいのある幼児児童生徒の特別支援教育を総合的に推進する。 <p>[隠岐適正就学指導委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隠岐郡内の医療・教育・保健・福祉の関係部局・関係機関の担当で組織された就学指導委員会を設置し、障がい等のある幼児児童生徒の教育相談、適切な就学判定を行い、特別支援教育の充実を図る。 | | | |
| 2 成果及び状況 | | | |
| <p>[特別な支援のための支援員配置] 4,832 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西郷小学校 (4 時間/日) 715 千円 ・ 磯小学校 (4 時間/日) 727 千円 ・ 磯小学校 (4 時間/日) 487 千円 ・ 五箇小学校 (4 時間/日) 624 千円 ・ 都万小学校 (3 時間/日) 367 千円 ・ 西郷南中学校 (5 時間/日) 898 千円 ・ 有木小学校 (6 時間/日) 1,014 千円 <p>[隠岐の島町相談支援チーム活動経費] 29 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談活動 (対象者 21 名・50 回) ・ 就学時健康診断「知的発達スクリーニング検査」事後処理 (対象者 8 名) ・ 特別支援教育支援員配置に係る審査判定 (対象者 12 名) <p>[隠岐適正就学指導委員会活動経費] 84 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 14 名 <p>[特別支援教育各種補助金] 313 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隠岐特別支援教育連絡協議会補助金 75 千円 ・ 特別支援学級合同学習事業補助金 238 千円 <p>[事務費] 75 千円</p> | | | |
| 3 評価及び課題 | | | |
| <p>[特別な支援のための支援員配置]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級担任や特別支援教育コーディネーターと支援員や保護者が連携を図り、支援方針を共通理解し、取り組んだ結果、支援を要する児童生徒や学級全体の安定が図られ、授業が円滑に進められた。また、苦手な教科についても意欲的に取り組む姿勢が見られるようになった。 | | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

〔隠岐の島町相談支援チーム〕

- ・相談活動等により、的確な実態把握や適切な支援につなげることができた。また、特別支援教育の理解と校内支援体制の充実が図られ、児童生徒への支援がより効率的・効果的に行われた。

〔隠岐適正就学指導委員会〕

- ・子どもたちの抱える課題の要因は複雑化しており、さらに教育的ニーズも多様化してきている。子どもたちが自らの可能性を發揮できるよう、早期から子どもたちの困っている状況に気付き、適切な支援をしていくことが重要である。乳幼児健診から医療や療育につなげたり、相談支援チームに相談をあげてもらったりなど、家庭と保育所や学校、関係機関等が一体となって取り組むことにより成果を上げてきている。

4 外部評価委員評価

- ・支援員の役割が正しく理解され授業の中で活用されていることで子どもたちの学習がスムーズに行われるようになってきていることについては大いに評価できる。
- ・児童生徒の支援記録ファイル（子育てファイル）が作成されていることは大いに評価できる。関係諸機関と学校、保護者の更なる連携が望まれる。また就学時はもとよりそれ以前の段階、小学校入学時、中学校入学時など、折に触れ保護者を対象とした特別支援教育への理解推進を進める機会の設定なども検討していただきたい。
- ・適切な支援を受けることで高校入試や高校入学後の学習の中で持てる力を發揮できると思われる生徒がいる。支援を要する子どもたちの進路保障のために、教委、学校、担当者での丁寧な連携と、指導・支援体制の充実を望む。
- ・支援員の確保、養成に力を入れてほしい。
- ・家族、保育所、学校、関係機関及び地域社会（事業所等）が連携した取り組みが素晴らしい。
- ・今後はリソースルームなどについてスクールカウンセラーの協力を得ながら研究する必要がある。
- ・子どもや保護者のニーズに応じた学校内での支援とともに今後の小・中・高につながる支援の方法や計画を検討する必要がある。

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|--|-------------------|----|
| 担 当 課 | 総務学校教育課 | No | 12 |
| 事 業 名 | 学校教育事業 | 子どもたちの学びを支える取組の推進 | |
| 事 業 名 | 教育支援センター「スマイル」運営事業 | | |
| 決 算 額 | 2,844千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> 長期間にわたり学校を欠席している児童生徒に対し、社会的自立に必要な適応力を身に付けたり居場所を提供するなど、個々の実態に応じた支援を行う。 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> 相談者数 年間延べ 27 人（実人数 6 人） (内訳) 小学生 0 人 中学生 0 人 その他 27 人 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> 学校や関係機関と連携を図りながら、相談等の対応を行った。 不登校児童生徒数が減少し、通所利用者はいない状況となっているが、引き続き支援センターの役割や支援内容の理解が深まるよう努める必要がある。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> センターの役割や支援内容について周知徹底を図りながら、利用者への支援と居場所確保のため継続していただきたい。 教育支援センター「スマイル」は何時でも対応できるよう継続運営を望む。 地理的な位置の問題はあるが、今後とも維持継続する必要があると考える。 | | |

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|--|---------|-----|
| 担 当 課 | 総務学校教育課 | N o | 1 3 |
| 事 業 名 | 学校教育事業 | 教育環境の整備 | |
| 事 業 名 | 学校施設整備事業 | | |
| 決 算 額 | 千円 | | |
| 1 事業の内容 | <p><学校施設改修></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都万学校大規模改修工事・・・都万中学校ストーブ 38 台の交換を行った。6,845 千円 <p><学校施設修繕></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育施設小修繕・・・小中学校施設、教職員住宅、スクールバスの修繕を実施した。4,994 千円 <p><中条小学校地震補強及び大規模改造（老朽）事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H23 年度に屋内運動場の地震補強の必要が判定された。H24 年度に屋内運動場の地震補強と合わせて屋内運動場、校舎の大規模改造（老朽）の設計を行い、H25 年度には本工事を実施した。236,909 千円 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 修繕補修の必要な個所はその都度修繕等を行った。 <p>また地震補強事業について H25 年度の中条小学校屋内運動場の補強により、町立小中学校全ての校舎・屋内運動場の補強が完了した。大規模改造については引き続き概ね築 30 年を目安に年次計画を立てて実施していく。</p> | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 建物を維持していく以上、日常の保守・修繕はかかせない。また老朽化した建物を使い続けていくためには定期的な大規模改造が必要である。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後とも計画的な改修を行いながら安全な教育活動の場となるよう尽力していただきたい。 ・ 子どもたちの安全面から、日常の修繕や大規模改修に積極的に取り組んでほしい。 ・ 喫緊の修繕を行うとともに改修及び修繕の年次計画を策定して実施していただきたい。 | | |

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|---|----------|-----|-----|
| 担 当 課 | 生涯学習課 | N o | 1 4 |
| 事 業 名 | 社会教育事業 | | |
| 事 業 名 | 会 議 | | |
| 決 算 額 | 2 1 1 千円 | | |
| 1 事業の内容 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育委員の会 ○社会教育に関する研究調査・諸計画の立案を行い、教育委員会の諮問に応じ、意見を述べる。 ・ スポーツ推進審議会 ○本町のスポーツ推進に関する諮問事項について調査審議し答申を行う。 また、生涯スポーツ推進計画を基に、具体的な推進を図る。 ・ 文化財保護審議会 ○文化財の調査研究と保存活用体制の確立についての研究協議を行う。 ・ 町立図書館運営委員会 ○町立図書館の運営及び事業の計画・実施について審議する。 ・ 公民館・教委職員研修会 ○公民館及び教育委員会職員の研修を行い、社会教育担当者としての資質の向上を図る。また、公民館と教育委員会の連絡調整を図り、事業の効果的運営に努める。 ・ 町立屋内温水プール運営委員会 ○プールの管理運営を適正且つ円滑に行うための調査審議を行う。 ・ 総合体育館管理運営委員会 ○総合体育館の管理運営を適正且つ円滑に行うための調査審議を行う。 | | | |
| 2 成果及び状況 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種会議については、その方向性の審議はもちろんのこと、次年度への予算に反映させるための事業計画への意見聴収を行っている。 | | | |
| 3 評価及び課題 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種会議とも年間 1～3 回の会議を行った。 施設が関係するものでは、老朽化による修繕の必要性の意見が多くでた。今後の予算要求に生かしたい。 | | | |
| 4 外部評価委員評価 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種委員の意見が事業や予算に反映するよう、今後も取り組んでほしい。 | | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|---|----|----|
| 担当課 | 生涯学習課 | No | 15 |
| 事業名 | 社会教育事業 | | |
| 事業名 | ふるさとあったかスクラム事業 | | |
| 決算額 | 100千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> 特別な支援の必要な子どもの自立や社会参加を促進するために、体験活動や指導者・サポーターの養成を行う。 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> サポーター養成講座と合わせて行い、4回の講義と、2回の体験活動（海遊び、初詣、冬の遊び）を実施した。毎回10名ほどの受講があった。体験活動は、子どもたち、スタッフ、サポーターを合わせ、毎回約40名であった。 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> 発達の気になる子どもたちが、積極的に様々な活動に参加できるよう、サポーターの養成を、続けなければならない。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> 支援が必要な子どもたちにとって安心して参加できる場があることは保護者支援という意味も含めて意義は大きい。そのためにも、サポーターの養成は今後とも継続して行い、人材育成と確保に努める必要がある。 サポーターの養成に積極的に取り組んでほしい。又、人材名簿等も作成して活用してほしい。 趣旨や観点に類似性のある事業に関しては統合を検討していただきたい。 | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|---|----|----|
| 担当課 | 生涯学習課 | No | 16 |
| 事業名 | 社会教育事業 | | |
| 事業名 | 教育キャンプ村の開設 | | |
| 決算額 | 100千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> 自然体験学習を通して、自ら考え行動できる、資質・能力や自然を愛する感性を育成する。また共同生活を通して他人を思いやる心やたくましさを育成する。 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> 4団体（五箇小、磯小、都万小、都万中）が、活動に取組んだ。児童生徒約80名が自然体験学習を行った。 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> 生活空間から完全に孤立した自然の中で、児童生徒の協調性、自立心を養っている。夏休みと言えども学校行事が多く、年々参加校が減っており、危惧する所である。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> 気象条件が変化しつつありゲリラ豪雨なども時折見られるようになっている昨今、本堂が使えない状況での大満寺キャンプは危険も多いと思われる。キャンプ村開設の意義、魅力を考えると継続されることが望ましいが、安全上問題が無いかどうかということを見直しを再検討してみる必要もあるのではないかと考える。 学校間や学年間の交流にも積極的に取組んで見てほしい。 一般からの指導員募集も考慮されたし。 各学校別に希望者で実施するのではなく、学校枠を飛び越えた自然体験学習のあり方を検討していただきたい。そのためには実施場所の整備等が必要になると考えられる。 | | |

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|--|----|----|
| 担 当 課 | 生涯学習課 | No | 17 |
| 事 業 名 | 社会教育事業 | | |
| 事 業 名 | 結集！わいらの子育て協働プロジェクト（県補助） | | |
| 決 算 額 | 2,456千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成23年度まで取り組んでいた「学校支援」「放課後支援」「家庭教育支援」が24年度から「結集！わいらの子育て協働プロジェクト」となった。 ・ 又、25年度においては「モデル事業」として、北小学校の通学合宿事業を実施した。 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校支援」では、地域コーディネーターを6名、「放課後支援」では、安全管理員を21名配置し、全小中学校で行った。「家庭教育支援」では、就学時健診、一日入学、PTA研修会を利用し、親学講座を全小中学校で行った。 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コーディネーターや、放課後子ども教室安全管理員の、ボランティアスタッフを確保することに苦慮している。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育において地域コーディネーターの果たす役割は大きい。人材の発掘・確保に努める必要がある。 ・ 放課後支援については保護者の期待や要望も大きく、人材確保が急務となっている。保護者が共働きの方が多い地域ほどその要望も大きいと同時に人材確保もより難しくなるという現状がある。募集要項や活動内容などを定期的に情報を流すなどしながらこの事業に対する理解を進め、人材確保に努める必要がある。 ・ 放課後子ども教室の安全管理員確保に積極的に取り組んでほしい。 (募集チラシ、口コミ勧誘等) | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|---|----|----|
| 担当課 | 生涯学習課 | No | 18 |
| 事業名 | 社会教育事業 | | |
| 事業名 | ふるさと教育推進事業（県補助） | | |
| 決算額 | 2,272千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> 学校・地域社会が一体となって取組むふるさと教育を支援し、心豊かでたくましい子どもの育成を図る。 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の「ひと、もの、こと」について体験、学習し、「ふるさと隠岐」を大切にする事業を、全小中学校で行った。また、隠岐の島町の医療の現状、課題についても体験、学習した。町の「いきいき祭り」で、ふるさと教育の発表も行っている。 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> 伝統文化や、自然、そこに生きる人々の生活に触れ、郷土に対する誇りと愛着心が育っている。より一層、地域との連携、ネットワークを作る必要がある。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> ジオ学習なども含めふるさと学習が充実したものになってきており、その成果が子どもたちの進路選択や学習後の感想などにも表れている。 地域を教育のステージとして、子供たちと住民が一体となって学習する姿がたくさん見られるようになって大変好ましい。 実施した内容を統合した成果物による教材化等を行い、充実を「ふるさと学習」として学校教育で実施することはできないか。 | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|---|----|----|
| 担当課 | 生涯学習課 | No | 19 |
| 事業名 | 社会教育事業 | | |
| 事業名 | 社会教育団体 活動支援事業 | | |
| 決算額 | 100千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 成人教育団体（小中学校PTA連合会）の活動促進を図る。 各地区の団体は公民館で予算化 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校PTA連合会への補助金 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校PTA連合会は学童ソフトボール大会（小学生）、PTAバレーボール大会（小中PTA）、研修会を開催している。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学童ソフトボール大会、PTAバレーボール大会、PTA研修会への活動支援は、今後も継続してほしい。 | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|--|----|----|
| 担当課 | 生涯学習課 | No | 20 |
| 事業名 | 社会教育事業 | | |
| 事業名 | 人権・同和教育関係団体活動等推進事業 | | |
| 決算額 | 195千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 隠岐の島町人権・同和教育推進会議の活動を促進し、人権・同和教育基本構想を基に教育活動を推進する。 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 隠岐の島町人権同和教育推進会議への補助金。 ・ 25年度は「島根県同和教育推進協議会連合会隠岐ブロック」として研修会を行った | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 周知不足のため参加者が少なかった。各事業所を個別に訪問するなど、積極的な参加要請を行いたい。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度のように研修会参加要請を積極的に行う必要がある。 ・ 例年素晴らしい講演講師を招聘しているので、参加者への呼びかけを積極的に行ってほしい。 ・ 隠岐の島町人権同和教育推進会議の活動がどのようなものであるかわかりにくいため、活動の活発化が困難になっていないか。学校教育での人権同和教育の小・中・高の連携についても企画、実践する必要はないか。 | | |

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|--|----|----|
| 担 当 課 | 生涯学習課 | No | 21 |
| 事 業 名 | 社会教育事業 | | |
| 事 業 名 | 教育文化施設運営事業 | | |
| 決 算 額 | 91,401千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 隠岐島文化会館を拠点に、財団などのノウハウを活用しながら、更なる教育・文化の振興を推進する。 ・ 隠岐島文化会館改修工事。 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理により適正な管理運営を図り、各種文化事業を実施した。 25年度は、県民プラザ、外壁、防水、空調設備等の工事を行った。 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設そのものの老朽化が進んでおり、今後も年次計画のもと、改修事業を進めたい。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 隠岐島文化会館は、町民の文化の拠点として活かされている。町民の安全確保のため、今後も改修事業を積極的に行ってほしい。 ・ 改修事業を年次計画に応じて実施するようお願いしたい。 | | |

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|---|-----|-----|
| 担 当 課 | 生涯学習課 | N o | 2 2 |
| 事 業 名 | 保健体育事業 | | |
| 事 業 名 | スポーツ推進委員活動費 | | |
| 決 算 額 | 3 0 7 千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ活動の企画・運営・実技等の研修と町民のスポーツ活動の実態把握及び方向づけを行う。 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ推進委員研修会を 2 回開催した。 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育指導委員から、スポーツ推進委員に名称が変わり、町のスポーツ振興に寄与しているが、町民に浸透していないのが現状である。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ推進委員の活用を各種団体へ呼びかけることも必要であろう。 ・ 具体的なスポーツ推進にあたっての計画的な立案を研修会等で行う必要がないか。 | | |

平成 2 5 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|---|-----|-----|
| 担 当 課 | 生涯学習課 | N o | 2 3 |
| 事 業 名 | 保健体育事業 | | |
| 事 業 名 | 学校施設開放事業 | | |
| 決 算 額 | — 千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ活動の拡大と日常化に対応し、活動の場の確保を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ○学校施設利用運営委員会 学校施設の諸問題を協議し、スポーツ活動の場の整備充実を図る。 ○学校施設利用団体調整会 学校施設の有効利用とマナーについて、研修を深める。年間 2回 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校施設（体育館）は大変多くの方が利用しており、地域に密着した活動となっている。 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者間の調整を図り、公平な利用実態とするため、調整を密にしたい。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校施設開放事業については、島民のスポーツ活動の充実やスポーツ振興の基盤ともなっており、大いに評価できる。 ・ 可能な限り、事業の継続を望む。 | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|--|----|----|
| 担当課 | 生涯学習課 | No | 24 |
| 事業名 | 保健体育事業 | | |
| 事業名 | 生涯スポーツ推進団体連絡会 | | |
| 決算額 | － 千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯にわたってスポーツ活動に親しむ体制づくりのために、研修会を開催するとともに、情報交換等を行い、相互の協力関係を深める。 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会は行わなかった。 ・ 各種大会が多く、各競技団体の翌年度のイベント調整が、非常に難しくなっている。特にアリーナの使用が多く、調整が必要となっている。 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各団体間において、協力体制はできている。 ・ トラブル等があれば、調整を行いたい。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 年一回ぐらいの安全面の代表者研修は必要と思う。 ・ 競技団体との連絡調整をさらに一層円滑にするための手立てをシステム構築できないか。 | | |

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|--|----|----|
| 担 当 課 | 生涯学習課 | No | 25 |
| 事 業 名 | 保健体育事業 | | |
| 事 業 名 | 総合型地域スポーツクラブ自立支援事業（日体協委託） | | |
| 決 算 額 | 1,954千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> 生涯スポーツ推進の一環として、スポーツクラブ運営について、しまね広域スポーツセンターとの連絡調整や指導者の育成など指導、助言を行う。 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> 日本体育協会からの助成を受け、クラブとして3年目に入り、会員も約350名と増え、スポーツを通して、健康増進に寄与している。 25年度において、日本体育協会からの助成金がカットされたため、体育館使用料分を町費により補助した。 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> 25年度をもって隠岐レインボークラブは解散し、事業を隠岐の島町教育文化振興財団が引き継ぐこととなった。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> 利用者が増加している状況を考えると、クラブの解散後事業が引き継がれたことは評価できる。 | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|--|----|----|
| 担当課 | 生涯学習課 | No | 26 |
| 事業名 | 保健体育事業 | | |
| 事業名 | 障がい者スポーツ振興事業 | | |
| 決算額 | 246千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者スポーツの推進を図るためスポーツ環境の整備及び健康増進指導を、隠岐レインボークラブに事業委託し実施する。 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成24年度からの事業で、レインボークラブに委託している。 ・ 障がい者に限らず、ユニバーサルスポーツとして、高齢者、健常者も一緒になって、健康増進につなげている。 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がいの程度によって、スポーツが限られるため、実施するに当たり、難しい面がある。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 健常者も障がい者も一緒に楽しめるようなユニバーサルな競技の紹介などが積極的になされると望ましい。 ・ 障がい者スポーツ振興事業であるから、事業実施に当たっては、障がい者に視点を当てたものにしてほしい。 ・ 困難な面もあるが推進願いたい。 | | |

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|---|----|----|
| 担 当 課 | 生涯学習課 | No | 27 |
| 事 業 名 | 保健体育事業 | | |
| 事 業 名 | 社会体育施設管理運営事業 | | |
| 決 算 額 | 28,315千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 西郷地区にある社会体育施設の管理運営を行い、スポーツ活動の普及振興を図る。 ・ (布施、五箇、都万地区においては各公民館が管理) | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 西郷武道館、中条・岬町民体育館、立木ヨットハーバー艇庫の管理・運営は教育委員会にて行う。 ・ 屋内温水プール、総合体育館、運動公園、は指定管理者による管理・運営を行う。 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各施設とも老朽化が進んでおり、計画的に改修していく必要がある。 ・ 西郷武道館は26年度より指定管理者制度となった。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ヨットハーバーなどの老朽化も著しい。安全に活動できるよう早い対応が望まれる。 ・ 町民の安全確保を留意した管理運営を行ってほしい。 | | |

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|---|--------------|-----|-----|
| 担 当 課 | 生涯学習課 | N o | 2 8 |
| 事 業 名 | 保健体育事業 | | |
| 事 業 名 | 社会体育団体活動支援事業 | | |
| 決 算 額 | 6, 9 1 8 千円 | | |
| 1 事業の内容 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 隠岐の島町体育協会 年間各種目のスポーツ事業（15競技）を実施する。地区体協（8地区）の活動を支援、県体協に加盟 ・ 隠岐体育協会支援事業 全隠岐陸上競技選手権大会運営支援、県学童通信陸上競技大会運営支援 ・ スポーツ少年団育成事業 スポーツ少年団の登録、各種情報提供と活動支援、少年野球大会予選開催 ・ 「がんばれ島のスポーツキッズ」少年少女島外遠征助成事業 島外へ遠征するスポーツクラブに対して、遠征経費の一部助成を行い、保護者の経済的負担の軽減を図り、子どもたちの活発な活動を支援する。 ・ 全国大会出場費一部助成事業 県予選を勝ち抜いて全国大会に出場する選手に対し、参加経費自己負担分の一部を助成する。 ・ 島根県スポーツレクリエーション祭活動支援 隠岐予選大会の運営補助、県大会への選手派遣。 ・ スサノオマジックプレシーズンマッチ観戦補助金 小中学生の観戦チケット代金の全額を補助。 ・ 八角部屋合宿支援費 大相撲八角部屋合宿の支援を行うことで、町内相撲競技の普及振興を図る。 | | | |
| 2 成果及び状況 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種団体への補助金である。各種競技団体の自立を推進する。 | | | |
| 3 評価及び課題 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金を交付し、指導、助言、手助けを行うことにより、町主催事業へのボランティアスタッフの動員効果に繋がっている面もある。 | | | |
| 4 外部評価委員評価 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 八角部屋合宿支援については検討が必要。 ・ 島外遠征助成事業については、その対象の幅も広がり、活用しやすく、意義のある事業である。今後も事業の継続が望まれる。 ・ 隠岐体育協会の組織強化を計る必要があるのではないか。 ・ 八角部屋隠岐合宿の運営は、完全に民間にゆだねることが望ましい。 | | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|---|-----------|-----------|----|
| 担当課 | 生涯学習課 | No | 29 |
| 事業名 | 社会教育事業 | ジオパーク推進事業 | |
| 事業名 | ジオパーク推進事業 | | |
| 決算額 | 31,745 千円 | | |
| 1 事業の内容 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界ジオパーク推進事業 ・ 隠岐ジオパーク国際交流員活用事業 ・ 世界ジオパーク認定セレモニー開催事業 | | | |
| 2 成果及び状況 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界ジオパーク推進事業 隠岐ジオパーク推進協議会負担金 総事業費：27,298 千円(4 町村合計額 36,165 千円) ・ 国際交流員活用事業 総事業費：4,328 千円 (1名：テレサ・サドカウスキ) ・ 世界ジオパーク認定セレモニー開催事業 総事業費：119 千円(参加者約 300 人) | | | |
| 3 評価及び課題 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月9日に念願であった世界ジオパークネットワークへの加盟が決定し、今後は活用に向け改めてスタートすることとなる。推進協議会だけでなく各町村、住民が一丸となった取り組みが求められる。 ・ 国際交流員については、現地審査や世界ジオパークネットワーク会議へ同行しその役割を大いに果たした。また、町広報に「テレサタイムス」を連載し、住民に対するジオパーク啓発についても力を注いだ。 | | | |
| 4 外部評価委員評価 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際交流員の果たす役割とその成果は大きいものがある。積極的に住民と交流し情報を発信していただけるのもよい。現在3年目だということだが任期延長が望まれる。 ・ 国際交流員の活用事業は、これからも不可欠である。 ・ 国際交流員や推進協議会の活動には限界があることから、3年後を視野におき、住民をふくめた各町村への周知や協力体制を早急に構築し、新たな取組を進めていく必要がある。そのためには学校教育での取組が必要と考える。 | | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|--|----------|----------|----|
| 担当課 | 生涯学習課 | No | 30 |
| 事業名 | 社会教育事業 | 文化芸術振興事業 | |
| 事業名 | 文化芸術振興事業 | | |
| 決算額 | 2,759千円 | | |
| 1 事業の内容 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 舞台劇「隠岐騒動」公演補助金 舞台劇「隠岐騒動」隠岐公演（7月5日レインボーアリーナ）。開催費の一部を補助する。 作・演出の岡部耕大氏は隠岐の島町ゆかりの劇作家。 事業費：4,240千円、町補助：2,000千円 ・ ミュージカル「あいと地球と競売人」鑑賞事業 「あいと地球と競売人」の20周年記念公演（10月5日レインボーアリーナ）。小学校の鑑賞料とバスによる児童の輸送費を負担する。 鑑賞料負担金：【児童】1,000円×693人、【引率】2,000円×102人 計 897千円 輸送費負担金：大型バス3台、中型バス2台、ジャンボタクシー3台 計 233千円 | | | |
| 2 成果及び状況 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 舞台劇「隠岐騒動」公演補助金 鑑賞者数 中高生 786人 一般 775人 計 1,561人 ・ ミュージカル「あいと地球と競売人」 鑑賞者数 小学校約 800人 一般約 400人 計約 1,200人 | | | |
| 3 評価及び課題 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 「隠岐騒動」については、本格的な舞台劇であったため、中高生には内容的に難しかった。アリーナでの開催も体育館であることから音が聞こえにくかった。人数的に可能であれば、芸術事業は文化会館での開催を検討すべきである。 ・ 「あいと地球と競売人」では、五箇小学校の生徒も実際に演者として参加し、思い出に残る事業であった。鑑賞した生徒に対しても、同世代の子どもたちの演技に触れることで、より印象深いものになったと思われる。 ・ 本町は離島であることから、町民が本物の芸術に触れる機会が少ない。少ない財源で招聘できる団体があれば積極的に招聘すべきである。 | | | |
| 4 外部評価委員評価 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 演劇については内容が中高生には難しいという実態があった。しかし、本物の芸術に触れるという点、また、隠岐を題材にした作品であったことなどはよかったのではないかと。 ・ 「あいと地球と競売人」については参加した五箇の児童にとっても他の学校の児童にとってもこれまでの演劇鑑賞とは一味違ったものとして楽しむことができたと思われる。 ・ 子どもたちや一般町民が舞台芸術に触れる機会の提供として今後も継続してほしい。 ・ 小・中・高の成育歴に応じた文化芸術公演を実施していただきたい。 | | | |

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|----------|---|--------------|----|
| 担当課 | 生涯学習課 | No | 31 |
| 事業名 | 社会教育事業 | 隠岐の島町図書館運営事業 | |
| 事業名 | 隠岐の島町図書館運営事業 | | |
| 決算額 | 27,138 千円 | | |
| 1 事業の内容 | <p>(1) 図書館企画運営事業</p> <p>(2) 図書館管理運営事業</p> <p>(3) 図書館資料購入事業</p> <p>(4) 図書館運営委員会開催事業</p> | | |
| 2 成果及び状況 | <p>(1) 図書館企画運営事業(隠岐の島町教育文化振興財団に委託) 14,198 千円 (入館者数 : 57,826 人、貸出冊数 84,433 冊)</p> <p>[主な事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料等の収集及び蔵書点検…蔵書計画に基づき整備 (H25 年度 : 81,139 冊) ・関係機関との連携強化…県立図書館、学校図書館との連携 (意見交換、研修等) 団体貸出…公共施設等に対し 100 冊を上限に本の貸し出しを行う ・図書館施設の活用 展示スペースの活用…郷土資料、住民の作品等展示 よるとしよ (2 回実施) 参加者 453 人 暮らしに役立つ図書館講座 (3 回実施) 参加者 52 人 ・子どもの読書活動推進事業 はじめてのえほん (毎週火曜日実施) 乳幼児 参加者 162 人 おはなしの部屋 (毎週土曜日実施) 幼児・児童 参加者 186 人 ・親と子の読書活動の推進 親と子の読書活動普及講座 (8 回実施) 参加者 227 人 季節の行事 (2 回実施) 参加者 160 人 ・地域情報発信事業 ビジネス支援事業…就職・転職・起業等の資料や情報を集めたコーナー設置 広報事業…町広報、図書館発行広報「よまんかね」「プレジャー」、ホームページ 等による読書啓発 <p>(2) 図書館管理運営事業(施設の維持管理費) 8,276 千円</p> <p>(3) 図書館資料費 4,604 千円 (書籍 : 2,811 千円、新聞 : 334 千円、雑誌 : 852 千円、AV 資料 : 607 千円)</p> <p>(4) 図書館運営委員会開催事業 60 千円(5 月 29 日、10 月 30 日)</p> | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

3 評価及び課題

- ・資料の収集については、開架・閉架を合わせ当初目標の8万冊に達したが、古く実情に合わないものも多く、引き続き、除籍及び購入を行い、現代のニーズに合った図書館づくりに努める。
- ・図書館利用状況は、総貸出冊数で、84,433冊（前年度83,610冊）、ほぼ横ばいである。
- ・図書館職員のスキルやサービスの質は高い。計画した事業を全て実施したことに加え、展示スペースの活用や、広報等の情報発信も積極的に行われており、円滑な運営がなされていると考える。
- ・新たな利用者層を開拓するための企画「よるとしよ」は、図書館を21時まで開館し、イベント等を行うもので、入場者も多く大変好評であった。今後は、日数を増やす等の対応も期待されている。
- ・運営については、平成26年度から指定管理に移行。専任の館長を配置。

4 外部評価委員評価

- ・蔵書管理、館内掲示、イベントや臨時展示コーナーなど、常に工夫した図書館経営がなされており、居心地のよい利用しやすい図書館となっている。高く評価できる。
- ・よるとしよについては仕事などの関係で普段図書館を利用しにくい方も利用できるという良さや、通常とは違った雰囲気 of 図書館の空気を味わうことができるということなど、魅力的な取り組みである。
- ・職員の勤務形態などから難しいとは思われるが、休館日の見直し（曜日・回数・学校の長期休暇期間の休館日）をしていただくと利用の幅が広がるように思う。
- ・入館者が気持ちよく読書できる運営がされており素晴らしい。
- ・「よるとしよ」等の工夫をこれからも期待する。
- ・現在の年間一律の開館時間10:00～18:00ではなく、期間に応じ6月～9月の期間は9:00～19:00（20:00）や平日は19:00までの開館などの検討を是非お願いしたい。

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|--|-----------|-----------|-----|
| 担 当 課 | 生涯学習課 | N o | 3 2 |
| 事 業 名 | 社会教育事業 | 文化財保存伝承事業 | |
| 事 業 名 | 文化財保存伝承事業 | | |
| 決 算 額 | 20,926 千円 | | |
| 1 事業の内容・成果及び状況 | | | |
| <p>(1) 埋蔵文化財調査事業 (3 件) 決算額 : 8,672 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隠岐国分寺発掘調査 (隠岐国分寺本堂再建に係る事前の確認調査) (国庫補助事業) 境内の遺跡の範囲を確認。発掘を伴う調査は終了。 ・ 久見高丸遺跡発掘調査 (黒曜石原産地遺跡の発掘調査) (国庫補助事業) 遺構の露出した崖面に傾斜をつけ崩落を防止し、遺構を保護した ・ 湊遺跡発掘調査 (県費事業) 国道 485 号線改良に係る埋蔵文化財の調査。 <p>(2) 無形民俗文化財補助金交付事業 決算額 : 3,175 千円 対象 : 町内の指定無形民俗文化財保持団体 (18 団体) ※対象経費の 1/2 以内</p> <p>(3) 牛突き習俗保存対策事業 決算額 : 2,830 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 突き牛導入費補助金 (11 件) 2,200 千円 ※導入費の 2/3 上限 20 万円 ・ 突き牛処分費補助金 (9 件) 630 千円 ※処分 1 頭につき一律 7 万円 <p>(4) 天然記念物樹勢回復事業補助金 決算額 : 1,034 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 唐傘の松 970 千円 ・ 中村のかぶら杉 64 千円 <p>(5) 指定文化財管理事業費補助金 決算額 : 105 千円 重要文化財建造物の防災施設保守点検費を補助 (水若酢神社本殿、玉若酢命神社本殿、億岐家住宅)</p> <p>(6) 布施海岸見廻り監視事業 (国庫補助事業) 決算額 : 125 千円 布施地区への委託事業 (見廻り回数 : 年間 104 回)</p> <p>(7) 佐々木家住宅管理運営事業 決算額 : 2,053 千円 入館者数 2,329 人 入場料収入 991 千円</p> <p>(8) 「隠岐の文化財」発刊事業 決算額 : 798 千円 「隠岐の文化財 (第 31 号)」の発刊 ※島前各教委との共同出版 (850 部発行)</p> <p>(9) 文化財事務調整 決算額 : 39 千円 文化財保護審議会の開催 (7 月 19 日、12 月 7 日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天然記念物の展示に関する対応協議 (オキサンショウウオ) ・ 隠岐国分寺発掘調査の報告と今後の方向性を協議 | | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

3 評価及び課題

- ・ 隠岐国分寺の埋蔵文化財調査については、23年度から国庫補助事業として発掘調査を行い、25年度をもって発掘を伴う調査を終えた。調査では、奈良時代の隠岐国分寺の遺構と思われる建物跡などを検出し、大きな成果を上げた。今後、その成果を発掘調査報告書として刊行する。しかし、隠岐の古代については、その全容について不確定な部分が多いことから、今後は、過去に調査を終えた隠岐国分尼寺跡や隠岐国府推定地と併せ、長期的・総合的な調査を計画する必要がある。
- ・ 久見高丸遺跡の調査については、遺構の露出した崖面に傾斜をつけ、崩落を防止することにより遺構の保護を行った。26年度は、崖上の平坦地を遺構が確認できる深さまで平面的に掘り下げ調査する。
- ・ 現在教育委員会で把握・管理している古文書については、保存状態の改善が急務であることから、26年度から整理保存事業を開始する。

4 外部評価委員評価

- ・ 久見高丸遺跡の調査他、隠岐の歴史的資料については丁寧な調査と記録、保存が望まれる。古文書の一括収蔵への動きが進んでいるのは評価できる。
- ・ 久見高丸遺跡の調査説明会を是非開催してほしい。
- ・ 古文書の展示説明会も開催してほしい。
- ・ 今後とも文化財保護、調査に尽力いただき学校教育の「ふるさと学習」に活用願いたい。

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|----------|---|-----|-----|
| 担 当 課 | 公民館 | N o | 3 3 |
| 事 業 名 | 公民館 | | |
| 事 業 名 | 生涯学習の推進 | | |
| 決 算 額 | 6, 2 7 8 千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館運営審議会 ・ 学習情報の収集及び提供 ・ 分館長会会議及び研修 ・ 分館・学級活動 ・ 職員研修 ・ 体育団体支援 ・ 公民館講座 ・ 高齢者学級・教室 ・ パソコン活用技術講習等 ・ 公民館なんでもマナビィ講座 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館運営審議会 6月13日・12月17日（2回開催） ・ 学習情報の収集及び提供 公民館ニュース年間12回発行、町広報やホームページに公民館のイベント・講座の案内を随時掲載 ・ 分館長会会議及び研修 各ブロック単位に分館連絡協議会を開催し、補助金に関する説明、分館相互の意見交換やまちづくりの地区推進連絡協議会も併せて行った。 中央公民館4地区・布施中村地区で実施、都万・五箇公民館は2回実施 ・ 分館・学級活動 各公民館で各分館に対し分館活動費の助成や分館講座等の支援を行った。 中央公民館（41分館）、布施公民館（12分館）、五箇公民館（12分館）、都万公民館（16分館） ・ 職員研修 公民館・教育委員会職員を対象とした研修に参加した。4回 ・ 体育団体支援 布施公民館・・・布施地区体育協会事業支援（4大会） 五箇公民館・・・五箇地区体育協会事業支援（8大会） 都万公民館・・・都万地区体育協会事業支援（5大会） ・ 公民館講座 中央公民館 9講座 24回 布施公民館 4講座 4回 五箇公民館 3講座 29回 都万公民館 4講座 4回 ・ 高齢者学級・教室 中央公民館・・・あけぼの教室 年間9回開催 布施公民館・・・老人会を主に3講座開催 五箇公民館・・・幸齢者学園 年間8回開催 都万公民館・・・笑福館 年間9回開催 ・ パソコン活用技術講習等 中央公民館・・・毎週月曜日パソコン相談、パソコン講座6回 | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

布施公民館・・・パソコン相談（随時）、パソコン講座1回

五箇公民館・・・パソコン相談（随時）

都万公民館・・・パソコン相談（随時）、パソコン講座1回

- ・公民館なんでもマナビィ講座

2分館で講座を開く

3 評価及び課題

- ・分館長会議では、分館活動に悩んでいる分館長が多いことから、分館長の相談・指導にも力を入れるよう検討する。
- ・各分館とも財源に乏しいところが多く、補助金を有効に活用して活動を行うよう指導する。補助金の実績報告について、全分館で統一をしたため戸惑いが見られたが、相談に応じながら今後も連携を図って行く。
- ・体育協会支援に関しては、運営スタッフを増やし専門部会を支援しながら、公民館の負担軽減を図る必要がある。
- ・公民館講座は住民のニーズに応じた講座の実施に心がけながら、継続が必要な講座・新しい講座を開くなどいろいろな活動を積極的に開催する。
- ・高齢者学級・教室については、交流の場となり楽しく活動が出来ており、多くの受講生が見込まれる。4公民館でそれぞれ独自の方法で実施していることから、今後も継続して開催する。
- ・パソコン教室は、住民のニーズに応えながら開催日程を検討する必要がある。
- ・公民館なんでもマナビィ講座の利用が少ないので、分館に活用してもらえようPRを行う必要がある。

4 外部評価委員評価

- ・地域の高齢者の交流の場、生涯学習の推進のために重要な場となっている。
- ・各体育団体支援については、専門部員の自主運営を推進していく必要がある。
- ・公民館活動の活発化を図るため、各分館・地域にアンケートを実施してそれぞれのニーズを把握して活動を構築していく必要がある。

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

が必要となってくる。

- ・ 冬期体力づくり教室は体力づくりだけでなく、生活リズム等の改善にも資する事業であり、継続して実施したい。

4 外部評価委員評価

- ・ 冬季体力づくり教室については長い歴史があり、体力づくりだけでなく、地域とのつながりを深めたり生活リズムを整えたりするといった意味合いも含み、意義深い活動である。今後も継続していただきたい。
- ・ ふるまい向上については、何についてどのように関わり指導するのか職員が具体的に持ちながら全館全取組での徹底を図られることを期待する。
- ・ 冬期体力作り教室は、他地域でも開催してはどうか。
- ・ 公民館を利用した学童保育を視野に入れるなど公民館の活動を地域のニーズに密着させることはできないか。

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|----------|--|-----|-----|
| 担 当 課 | 公民館 | N o | 3 5 |
| 事 業 名 | 公民館 | | |
| 事 業 名 | 家庭教育・青少年教育の充実 | | |
| 決 算 額 | 3 5 9 千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭教育支援 ・ 青少年の育成と活動の推進 ・ ふるさと教育推進事業 ・ 学校支援地域本部事業 ・ 地域青少年伝統活動支援事業 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭教育支援（親子で実施できる講座を実施） 中央公民館・・・木工・陶芸・リース作り・フラワーアレンジメント教室（48組 105名参加） ・ 青少年の育成と活動の推進 「くぬぎの森にあるもの」事業・・・年間4回実施（合計288名参加） 中央公民館・・・さつま芋収穫体験・長縄跳び大会・スポーツチャンバラ大会（合計160名参加） 布施公民館・・・きもだめし大会・とんど（合計78名） 都万公民館・・・青少年育成事業工作（75名参加） ・ ふるさと教育推進事業 教育キャンプ支援、ふれあい食体験支援下校指導支援等を行った。 ・ 学校支援地域本部事業 教育委員会を中心に公民館、コーディネーターと連携を図り、学校支援を行った。連携を密にし地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを推進した。 ・ 地域青少年伝統活動支援事業 立志式・・・開催日：2月1日 開催場所：布施公民館 出席者：中学2年生4名（布施地区）、保護者 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・「くぬぎの森にあるもの」事業については、今年度はジグソーパズルなど学習の要素を取り入れるよう計画し、創意工夫しながら事業を実施できた。定着し人気のある事業であり、校区を超えた交流も図れることから継続開催する。けが人が出たことを反省し、参加した子どもたちが、創造する体験活動ができるよう、安全確保に最善の注意を払って事業を実施しなければならない。 ・立志式については、町内の中学2年生を対象としていたが、各中学校との調整がつかず実施することが出来なかった。布施地区の中学生は、布施公民館で実施した。 | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

4 外部評価委員評価

- ・ジオ学習の要素を取り入れた活動内容は子どもたちの興味にも沿い、また、地域への思いや愛情を深めることにもつながるものとなり、高く評価できる。
- ・それぞれの公民館で特色ある家庭教育、青少年教育が実施されており素晴らしい。今後のさらなる発展を望む。
- ・公民館活動の統合による事業の有機的なつながりを持った事業を中学生や高校生の意見も反映させながら展開できないかを検討する必要があるか。

平成 2 5 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|--|-----|-----|
| 担 当 課 | 公民館 | N o | 3 6 |
| 事 業 名 | 公民館 | | |
| 事 業 名 | 文化芸術活動の推進・人権・同和教育の推進 | | |
| 決 算 額 | 3 3 3 千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化祭 ・ 図書普及事業 ・ 人権・同和教育の推進 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化祭 <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館・・・11月2日～3日開催 来場者約 700 名 布施公民館・・・11月17日開催 来場者約 1,200 名（いきいき祭りと共催） 五箇公民館・・・11月23日開催 来場者約 400 名 都万公民館・・・11月10日開催 来場者約 300 名 ・ 図書普及事業 <ul style="list-style-type: none"> 布施公民館、五箇公民館、都万公民館においては、隠岐の島町立図書館と連携し図書の充実と公民館図書の利用促進を図った。 ・ 人権・同和教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> 人権同和研修会に参加し公民館職員のスキルアップに努めた。 10月1日 講義 「今、学校での同和問題学習」藤原博詩 氏 | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化祭は地域住民唯一の文化発表の場で、多くの町民が楽しみにしている事業であることから、出展者の拡充に努めると共に、開催時間や日程等検討しながら継続開催したい。 ・ 公民館図書の利用は、児童生徒の利用が多いいため、一般住民を対象とした図書利用の方法を考えるよう努力する。 ・ 人権・同和教育の推進については、職員研修ばかりでなく独自の講座や分館講座も開催し、啓発活動に積極的に取り組めるよう努力する必要がある。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権、同和教育の推進については、隠岐の島町推進会議の講演に参加することを考えてはどうか。 ・ 小・中・高校生や保護者、高齢者の方々の意見などを反映したイベントを展開できないか。 | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|----------|---|----|----|
| 担当課 | 公民館 | No | 37 |
| 事業名 | 公民館 | | |
| 事業名 | コミュニティー活動の推進 | | |
| 決算額 | 1,578千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティー活動 ・ 結婚活動応援事業 ・ 関係団体との連携事業 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティー活動 <ul style="list-style-type: none"> 隠岐の島町まちづくり運動協議会および関係団体との連携により、住民参加による活力のある「ふるさとづくり」に向けた活動を推進した。 ○広報誌発行・・・7月・10月・3月 ○生活環境部会・・・環境啓発活動（随時）、エコフェスタ（2/16 500名参加） クリーン作戦（3/8 五箇地区 雪のため中止） ○地域振興部会・・・島友フェスタ（9/28 若者対象イベント 700名参加） 人材派遣支援（9/25～27 島づくり人材養成大学1名派遣） ○青少年育成部会・・・アドベンチャー教室（8/17～19 キャンプをしながら隠岐の島町を自転車で1周 島内外から小・中学生52名参加） 子ども会支援（隠岐の島町子ども会連絡協議会事業を支援した。） ・ 結婚活動応援事業 <ul style="list-style-type: none"> 実行委員会（島こいプロジェクト実行委員会）を組織・・・10回開催 第1回田植え・・・5/19 田植え体験&バーベキューで交流 28名参加 第2回ジオ学習・・・7/14 ジオ学習、黒曜石アケサリ体験 26名参加 第3回夏祭り・・・8/3 屋台の出店 実行委員12名参加 第4回島友フェスタ・・・9/28 ブライダルコーナー・カラーセラピー診断等の体験 63名参加 第5回稲刈り・・・10/6 稲刈り体験 14名参加 第6回美活・・・10/10 メイク教室 8名参加 第7回交流会・・・11/23 稲刈りした米を食べ、隠岐の未来を語る 13名参加 第8回イルミネーション・・・12/1 イルミネーションで飾り付け 18名参加 第9回センスアップ・・・3/16 身だしなみ、話し方の学習会 16名参加 ・ 他団体との連携事業 <ul style="list-style-type: none"> おーKIギネスに挑戦等、文化会館でのイベントを財団と連携して行う。 | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

3 評価及び課題

- ・ コミュニティ活動は隠岐の島町まちづくり運動協議会との連携により実施しているが、町民の活動に対する認知が薄い。各地域と一体となって取り組める事業を増やしたり、多くの町民が参加するよう広報等によりもっと周知する必要がある。
- ・ 結婚活動応援事業は、委員からの自発的な意見により活動的な企画立案ができた。島友フェスタ事業と同じように公民館に立ち寄ることの少ない若者の集まる場として、今後も継続して活動の支援を行う必要がある。

4 外部評価委員評価

- ・ コミュニティ活動については、エコフェスタ、島友フェスタ、アドベンチャー教室など、定番になった人気がある事業も増えてきているので、住民のニーズを把握しつつ広報紙などを使っての周知していく必要がある。
- ・ 島こいプロジェクトについては、若者が集まるしかけづくりとして実行委員の自発的な活動になりつつあり、NSNを活用した情報発信も行われている。今後の活動の広がり期待を持つことができる。
- ・ 結婚活動応援事業の継続と発展を強く要望する。
- ・ 定住対策課とも連携しながら若者の自発的な活動として支援を継続していただきたい。

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | |
|------------|--|----|----|
| 担当課 | 公民館 | No | 38 |
| 事業名 | 公民館 | | |
| 事業名 | その他関連事業（各施設の管理運営） | | |
| 決算額 | 10,916千円 | | |
| 1 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ その他関連事業 各公民館管轄の各施設の管理状況 | | |
| 2 成果及び状況 | <ul style="list-style-type: none"> ○中央公民館 陶芸室の管理運営（74件 296人利用） ○布施公民館 布施町民体育館運営（65件 476人利用）・布施町民運動場管理運営（1件 215人利用） ○五箇公民館 五箇生涯学習センター運営（102件 3,256人利用）・五箇町民体育館運営（60件 3,002人利用）・五箇町民運動場運営（42件 8,056人利用）・五箇町民プール運営（553人利用）、相撲場管理運営（1件 113人利用） ○都万公民館 都万町民運動場運営（16件 1,386人利用）・相撲場管理運営（9件 456人利用） | | |
| 3 評価及び課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館管轄の各施設については、各公民館により適正な管理運営を行っているが、利用頻度が少ない施設は管理が難しいところがある。老朽化が進んでいるところもあり、今後計画的に施設修繕を行い利用者が安全に利用できるよう努めて行く必要がある。 | | |
| 4 外部評価委員評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設修繕を積極的に行い、利用者の安全に配慮してほしい。 | | |

平成 25 年度教育委員会主要事業実績報告

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--------------|-------------|--------------|-------|--------|--------|--------------|-------|----------|----------|-----------|-------|--------------|-------------|--------------|
| 担 当 課 | 学校給食センター | No | 39 | | | | | | | | | | | | |
| 事 業 名 | 学校給食センター | | | | | | | | | | | | | | |
| 事 業 名 | 学校給食の実施 | | | | | | | | | | | | | | |
| 決 算 額 | 165,447 千円 | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 事業の内容 | | | | | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 成長期にある児童・生徒に栄養バランスの取れた給食を提供することにより、健康増進と体力の向上を図りながら、健康な心身を育てることを目的としている。 ・ 給食地場産物を活用し地域の郷土料理や伝統料理の献立を取り入れることにより、ふるさとを愛し、誇りをもち心豊かでたくましい子供の育成に努めることを目標に行っている。 ・ 地産地消を進めていくために、生産団体と連携し学校給食における積極的な地場産物活用の推進を図っていく。給食センターの地場産野菜の納入は、JA 隠岐と地域の野菜生産グループで組織されている隠岐の島町地域産物直売流通振興協議会が殆どである。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 成果及び状況 | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">対象学校数</td> <td style="width: 25%;">小学 7 校</td> <td style="width: 25%;">中学 4 校</td> <td style="width: 25%;">その他（養護学校）1 校</td> </tr> <tr> <td>児童生徒数</td> <td>小学 702 人</td> <td>中学 359 人</td> <td>その他 203 人</td> </tr> <tr> <td>給 食 数</td> <td>小学 133,794 食</td> <td>中学 67,721 食</td> <td>その他 38,633 食</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 季節の旬の地元食材を使用した『ふるさと給食』の日は、年間を通して毎月 1 回実施することが出来た。またその実施については、行政関係諸機関との連携のもと、毎回使用する地元の食材についてのリーフレットを作成し、隠岐の島町の全児童生徒・教職員に配布し給食時間の指導に活用してもらった。さらに、本資料を持ち帰ることで、家庭における郷土食・伝統食・食文化の継承など食育の啓発につなげた。 | | | | 対象学校数 | 小学 7 校 | 中学 4 校 | その他（養護学校）1 校 | 児童生徒数 | 小学 702 人 | 中学 359 人 | その他 203 人 | 給 食 数 | 小学 133,794 食 | 中学 67,721 食 | その他 38,633 食 |
| 対象学校数 | 小学 7 校 | 中学 4 校 | その他（養護学校）1 校 | | | | | | | | | | | | |
| 児童生徒数 | 小学 702 人 | 中学 359 人 | その他 203 人 | | | | | | | | | | | | |
| 給 食 数 | 小学 133,794 食 | 中学 67,721 食 | その他 38,633 食 | | | | | | | | | | | | |
| 3 評価及び課題 | | | | | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の業務においては、安心安全な学校給食の提供を揚げ、衛生管理並びに安全管理について、日常的に職員間で協議を深めながら、事故のない円滑な業務を行うことが出来た。また、給食実施については、優先的に地元産物の導入に努め、各校で実施するふるさと教育や食育推進への関連づけを考慮した献立内容の工夫に努めた。さらに、栄養教諭の学校訪問や食に関する指導を通して、児童生徒の実態把握や学校現場の要望に配慮した給食を実施した。 <p>現在、島内の全小中学校及び養護学校が受配校であり、現施設設備での業務の制約や、業務の煩雑化は日常的にあるものの、今後も条件整備に努めながら、より充実した学校給食を目指していきたい。また、アレルギー対応等様々な事項を個別に対応し、高い評価を得ている。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |

平成25年度教育委員会主要事業実績報告

4 外部評価委員評価

- ・毎月1回のふるさと給食の実施やリーフレットの作成・配布、メニューの工夫など、豊かな給食を目指しての努力がうかがわれる。家庭や子どもたちの評価も高い。
- ・アレルギー対応が必要な37名に対しても配食ミスなく実施できたことも評価できる。今後とも学校との連携を密にし、チェック体制を強化し安全な配膳を目指していただきたい。
- ・これからも日々安心安全を心がけ、おいしい給食づくりに努めてほしい。
- ・バイキング方式なども積極的に取り入れてほしい。
- ・施設の老朽化を視野に入れた民間委託の方向性の検討とともに、地産地消の推進（JA等との連携）の広報活動やアレルギーへの対応について引き続き取り組んでいただきたい。